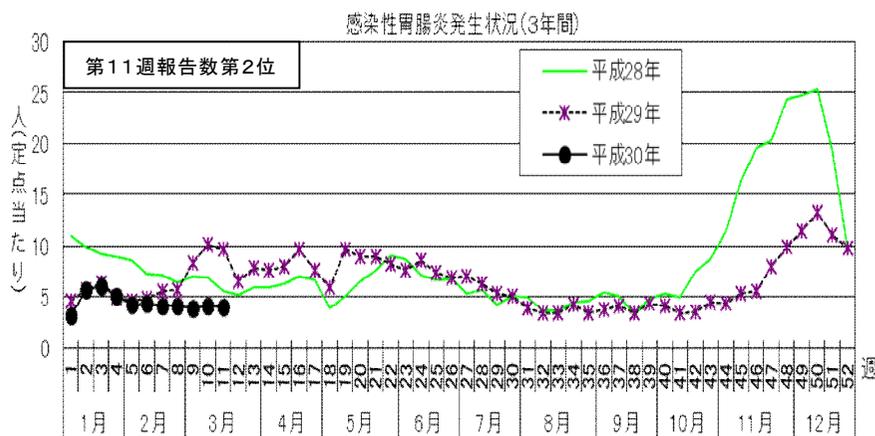
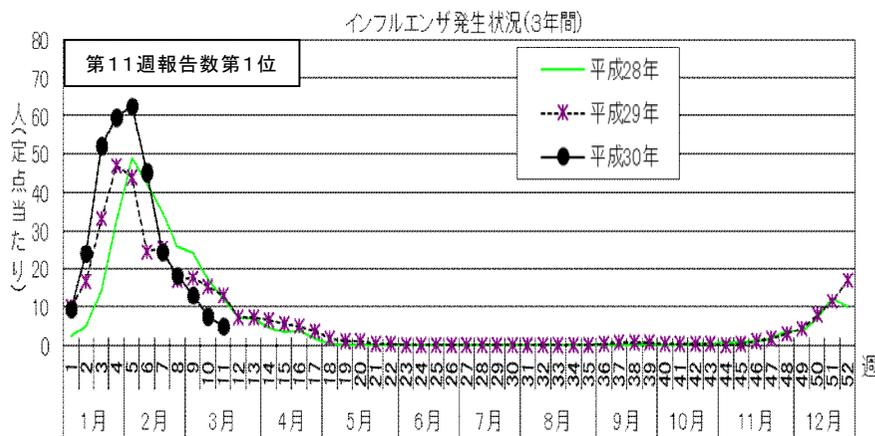


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年3月12日（月）～平成30年3月18日（日）〔平成30年第11週〕の感染症発生状況

第11週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は5.11人と前週（7.44人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.00人と前週（4.11人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.70人と前週（2.32人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



知っていますか？～細菌性赤痢～

細菌性赤痢は、かつては国内で10万人を超える報告がありましたが、その後激減し、現在は全国で年間150件程度の報告となっています。川崎市内での報告は年間1～3件程度で推移していますが、今年は第11週（平成30年3月12日～3月18日）までに、既に3件の報告がありました。

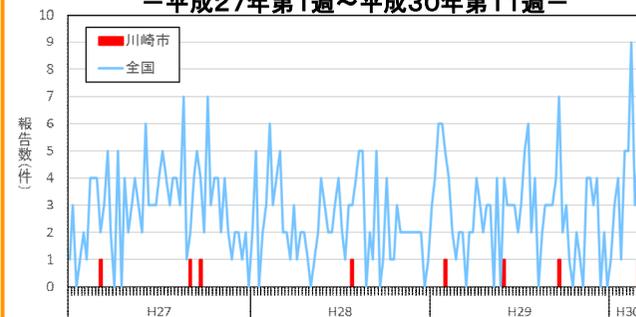
東南アジアなど海外での感染による事例が大半を占めるため、これから春休みを利用して海外に行かれる場合は、食べ物や水などには十分御注意ください。

細菌性赤痢とは？

- 病原体
赤痢菌
- 感染経路
糞口感染
(患者糞便中の赤痢菌によって汚染された飲食物や人の手を介して感染します。)
- 主な症状
1～3日の潜伏期間の後、全身の倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱、水様性下痢などを呈する。
(軟便や軽度の発熱で経過する軽症例が多いですが、重症例では、しぶり腹*や膿粘血便を伴うことがあります。)
*疼痛を伴い便意をもよおすが、少量の排便のみですぐにまた便意が生じる状態



全国、川崎市における細菌性赤痢発生状況
—平成27年第1週～平成30年第11週—



海外では食べ物・水・氷にご注意を！

- ◆生水は避け、ボトル入りの水を飲むようにしましょう。また、氷も生水から作られている可能性があるので注意しましょう。
- ◆十分に火の通った物を食べるようにしましょう。

